

おかげさまで  
開館5周年

# (Re:hibiyal)

～日比谷図書文化館 再発見～

日比谷図書文化館は11月4日に開館5周年を迎えます。当館は、本を読み、調べる図書館と、歴史や多彩な文化情報を展示するミュージアム、様々な講座やイベントを行うカレッジが一体となった複合文化施設であり、新たな興味や関心が広がる「知の拠点」を目指しています。開館5周年を記念し、講演会をはじめ、各フロアでは当館をもっと知っていただくための企画や展示を多数開催しています。知っているようで知らなかった日比谷図書文化館の新たな魅力を再発見してください。

## 見る

【Facebook】

あなたの知らない世界?!  
日比谷図書文化館ウラ側大公開!

閉架書庫や歴史が感じられるバックヤードなど普段は立ち入ることが出来ない場所や開館5周年企画の様子などをFacebookでお届けします。

## 楽しむ

【モザイクアート】

開館以来の「日比谷カレッジ」や「企画展示」の様々なチラシを使用した大型ポスターを作製。5年間の歴史が目で楽しめます。

【クロスワードパズル】

開館5周年を記念したクロスワードパズル。日比谷図書文化館や近隣、図書館用語について、どれだけ知っていますか? レットトライ!  
←問題は裏面をご覧ください。

日比谷図書文化館開館5周年記念講演会

11/2 (水) 野波健蔵さんと未来を読む ドローンが変える社会

講師:野波 健蔵(株式会社自律制御システム研究所 代表取締役)  
ナビゲーター:志水 正敏(日本科学未来館 科学コミュニケーター)

小型無人機「ドローン」の登場は空の産業革命として、世界的に注目を集めています。ドローンとは何か、何ができるのか、技術や法整備、利活用やその可能性について、ドローン開発の第一人者にお話しいただきます。私たちの暮らしや社会はどう変わるのか、未来を読むための2時間です。



■日時:11月2日(水)19:00~21:00(18:30開場)  
■会場:地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)  
■定員:200名  
■参加費:1000円(千代田区民500円)

## 読む

【図書フロア】

開館以来、5年間で日比谷カレッジにご登壇いただいた各講師がお薦めする本を展示。感銘を受けた一冊や思い出の一冊などを選んでいただきました。思いがけない本との出会いをお楽しみください。



## 知る

【特別研究室】

今まで足を運ぶことのなかった方もこの機会に特別研究室を訪れてはいかがでしょう? 特別研究室の蔵書を紹介するツアーを実施します。貴重な古書が解説と共にお手元でご覧になれます。また、3階では特別研究室の蔵書から霞ヶ関・永田町界隈の幕末期の江戸切絵図を展示。ご当地の「むかし」を知ることが出来ます。

◎特別研究室ミステリーツアー

▶10/26(水)・31(月)18:30~19:00、  
▶11/3(木・祝)・5(土)11:30~12:00  
\*参加費無料、事前申し込みが必要。



11/5 (土) 再読の愉しみ

講師:池内 紀(ドイツ文学者、エッセイスト)

幼い頃に読んだ名作を、大人になって読んでみる。青年のときに感動した作品を、老年の身で再読する。かつての自分と今の自分…。過去に感動した作品の再読は、作品の未知の部分や未知の自分の発見をもたらす。そんな再読の愉しみを読書の達人が紹介します。



■日時:11月5日(土)14:00~15:30(13:30開場)  
■会場:地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)  
■定員:200名  
■参加費:1000円(千代田区民500円)

## 11月の展示情報

※展示情報は変更する場合がございます。

- 2F パープルゾーン** ■特別展「江戸からたどるマンガの旅 ~鳥羽絵・ポンチ・漫画~」 関連展示(三角台~11/16)
- 2F ホール** ■日比谷カレッジ 開館5周年記念講演会(~11/20)  
「再読の愉しみ」 関連展示  
「野波健蔵さんと未来を読む ドローンが変える社会」 関連展示  
「千代田区生きものさがし2016」(~10/31)
- 3F グリーンゾーン** 「つながる世界 ー現代のネットワークー」(~2017/2/17) **NEW!**  
インターネットによって人と人、人とモノの距離は縮まり、さらにはモノとモノのネットワークも構築されつつあります。ネットワークのさらなる発展により、「つながり」の重視される社会とはどのようなものになるのか、リスクや問題点も含めて考える展示です。
- 3F ブルーゾーン** 「家族ってなに?」(~12/16)  
辞書に記載されている「家族」の定義を踏まえ、多様化し、一括りには出来なくなっている現代の家族についてご紹介します。多方面から「家族とは何か?」を考える展示です。
- 3F ホール** ■開館5周年記念  
「日比谷カレッジ講師おすすめ書籍アーカイブ展示」(~11/20) **NEW!**

## ZONE PICK UP! 2F パープルゾーン

【江戸・東京】の本を集めたゾーン



## お江戸ネットワーク

江戸時代、日本をつないだ街道や水路、橋などの交通網は、人の往来や物流を盛んにしただけでなく、情報や文化を伝える役割も果たしていました。当時活躍した飛脚や舟運の仕組みなど、「江戸のネットワーク」を構築した様々な職業や交通手段の他、江戸のメディアに関する資料もご紹介します。



## ◆江戸と東京の橋◆

対岸に橋を架けることで人や文化の交流が容易になりました。また、橋には様々な逸話やエピソードがあります。

レポートします! 日比谷データベース講座 vol.16

9/21 (水) Mpacを使った市場規模やマーケットシェアの調べ方  
講師:椎野 由大 (株式会社 富士グローバルネットワーク マーケティングデータサービス部 アシスタントディレクター)



市場調査やマーケティングなどに有効な多くの情報を素早く入手できるMpacの講座は毎年大人気。今年も、昼夜の2回で30名近くの方にご参加いただきました。収録されているデータの種類や活用方法、便利な検索方法などわかりやすく説明する講師の話に傾きながら、実際にご自身の端末でデータベースを操作することができた為、より一層便利さを実感していただけた講座となりました。

2階カウンター前の会場は満席。気になって立ち止まる方も多くいらっしゃいました。  
※データベースのご利用はカウンターでのお手続きが必要です。

### 三菱一号館の復元

蘇った明治期の煉瓦造オフィスビル

講師:野村 和宣 (株式会社三菱地所設計)

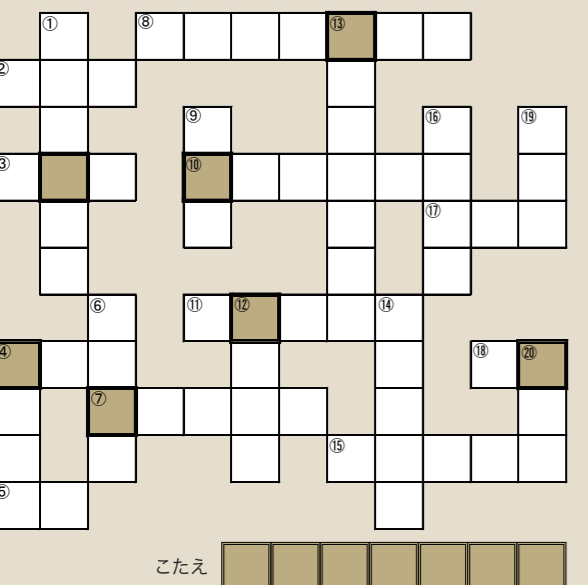
オフィス街「丸の内」の原点である明治期のオフィスビルを、ジョサイア・コンドルらの設計図面や写真資料等に基づいて忠実に復元させた講師に、当時のオフィスビルの建築技術や考え、都市再生の中で歴史的建造物を継承することの意義についてお話しいただきました。実際の復元におけるスケールの大きさ、労力の膨大さ、そしてデザイナーの繊細なこだわりについての貴重なエピソードの数々に、会場のあちこちから感嘆の声があげられました。

多くのスライドや迫力ある動画で復元の過程をわかりやすく説明していただきました。

9/14 (水)

## Crossword Puzzle

開館5周年記念【オリジナル クロスワードパズル】



二重わくにある文字を組み合わせて、言葉を作ってください。日比谷図書文化館1階の受付・コンシェルジュのスタッフに答えを伝え、正解者の方に「アニマルルーベ\*」または「特別研究席2時間利用券\*\*」いずれかの景品をさしあげます。(お一人様一回に限りです。) 11月20日(日)まで

- 【タテのカギ】
- 1 広報誌の名前にもなった「ポモネ」の描かれたフレスコ壁画の主題は?
  - 4 アメリカについて学ぶ機会を提供することを目的とした2階にあるコーナーはアメリカン○○○○
  - 6 4階にはスタジオプラスと2つの○○○○ルームがある。
  - 9 2011年11月4日、日比谷図書文化館は複合文化施設に○○○変わった!
  - 12 日比谷図書文化館の建物は○○○○形
  - 13 図書館内で資料を運ぶために使用する、キャスト付きの台車。(ヒント:ポモネ2013年6月号)
  - 14 2015年4月18日~6月19日まで開催したのは? 特別展○○○○○「美花選」展
  - 16 出版物を指定された公的機関に納入することを定めた制度。毎年5月25日は「○○○○○制度の日」。(ヒント:ポモネ2015年9月号)
  - 19 4階特別研究室には約1万6千冊の○○○嘉吉文庫がある。
  - 20 開催中の特別展は「江戸から○○○マンガの旅」
- ※ポモネのバックナンバーはホームページ、2階図書フロアでご覧いただけます。
- 【ヨコのカギ】
- 2 日比谷カレッジは「江戸・東京」「本」「芸術」「スキルアップ」「○○○アップ」の5つのテーマで行っています。
  - 3 「図書館○○○」「ミュージアム○○○」「文化活動・交流○○○」「アカデミー○○○」を兼ね備えた複合文化施設です。
  - 4 日比谷公園の猫たちは、ここに住んでいます。
  - 5 同じ本を2冊以上所蔵すること。○○本 (ヒント:ポモネ2015年1月号)
  - 7 本来、書架に並ぶべき本が別に置かれた状態を指す図書館での造語。(ヒント:ポモネ2014年3月号)
  - 8 日比谷図書文化館の情報は、ブログ、ツイッター、○○○○○○で配信中!
  - 10 今年、創業113年を迎えた日比谷公園のレストラン。
  - 11 日比谷図書文化館では保存期間の過ぎた雑誌などを毎月第3火曜日に○○○○○本として提供しています。
  - 15 常設展示室では「徳川盛世録」を○○○○○侍が説明している。
  - 17 明治36年、日比谷公園は○○○静六によって日本初の西洋式公園として造られた。
  - 18 館内では○○付きのお飲み物のみ、お持ち込みいただけます。

\*数に限りがあります。 \*\*特別研究席2時間利用券について ●平日期間限定。土日祝日は利用できません。 ●お一人様1回限り。高校生以下の利用は、保護者の同伴が必要です。(保護者の方が利用券をお持ちでない場合は別途料金が必要となります) ●お席はお選びいただけません。(1日5席まで、先着順となります) ●ご利用の際は、千代田区立図書館の貸出券をご提示ください(貸出券はどなたでもお作りいただけます。)

# 11・12月の講座

▶「日比谷カレッジ」とは、日比谷図書文化館が主催・共催で行うセミナーやイベントです。「江戸・東京」「本」「スキルアップ」「芸術」「センスアップ」の5つのカテゴリーに基づき、さまざまな「学び」と「交流」の場を提供します。

## 11/1 (火) 展覧会への入口講座VOL.21 三菱一号館美術館×日比谷図書文化館 「拜啓 ルノワール先生」展 梅原龍三郎先生を水先案内人にした、藝術世界探訪

講師：安井 裕雄（三菱一号館美術館 学芸グループ 副グループ長）

1909年2月、訪問の約束もなく印象派の巨匠ルノワールの家を訪れて弟子入りした梅原龍三郎。当時弱冠二十歳、京都の悉皆屋という呉服をプロデュースする店で育ち、卓越したセンスをバリエで磨いた洋画の重鎮の眼を借りて、豊穡なる20世紀美術の世界を探訪します。



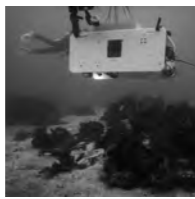
ピエール＝エミール・ルノワール『パリの審判』1908年、油彩/カンヴァス、三菱一号館美術館寄託

- 日時：11月1日(火)19:00～20:45(18:30開場)
- 会場：地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール) ■定員：200名
- 参加費：1000円(千代田区民500円)

## 11/10 (木) 海に沈んだ歴史と宝物 一水中考古学の魅力

講師：岩淵 聡文（東京海洋大学大学院教授）

海洋文化研究の第一人者であり、ユネスコの諮問機関イコモス(国際記念物遺産会議)の国際水文化遺産委員会日本代表である講師が、海の文化遺産を研究する学問、水中考古学についてお話しします。ユネスコの「水文化遺産保護条約」採択以降、水中考古学の世界がどう変わったか、最新の研究成果も交えてロマン溢れる海の世界をわかりやすく解説していただきます。



初島沖沈没船を調査する東京海洋大学の水中ロボット

- 日時：11月10日(木)19:00～20:30(18:30開場)
- 会場：4階 スタジオプラス(小ホール)
- 定員：60名 ■参加費：1000円

## 11/11 (金) 千代田区区民講座 稲田御影石のおかたい話

講師：市田 佑三（株式会社想石 代表取締役）

茨城県笠間市稲田から産出される稲田石は、第一生命ビル・最高裁判所・日本銀行本館・明治神宮・日本橋など、全国各地の建築や墓石に使われています。また、採掘場は稲田石のPR活動の一環であるエキシビジョンのメイン会場として一般公開され、その稀な地形は多くの映画やTVの撮影場所にもなっています。稲田石の歴史や施工実績、採掘・加工工程、海外石材事情など、日本の近代化を支えた稲田御影石についての「かたい」お話です。(主催：NPO法人神田雑学大学)



- 日時：11月11日(金)19:00～20:30(18:30開場)
- 会場：4階 スタジオプラス(小ホール)
- 定員：60名 ■参加費：無料

## 11/16 (水) 『遠野物語』の世界 ～村落の伝承をめぐって～

講師：三浦 佑之(立正大学文学部教授)

今から100年余り前、東北の山深い村に語り伝えられていたさまざまな伝承がまとめられ、わずか350部が出版された。後に、日本民俗学の始まりを告げる書として、また魅力的な文学世界にみちた書として称えられるようになり、今に至る。その『遠野物語』の成立や伝承の魅力について考えてみたい。



- 日時：11月16日(水)19:00～21:00(18:30開場)
- 会場：地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
- 定員：200名 ■参加費：1000円

〈参加申込〉電話(03-3502-3340)またはEメール(college@hibiyal.jp)にて、講座名、お名前(よみがな)、お電話番号をご連絡ください。当館1階の受付でもご予約を承ります。各講座ともに定員になり次第、締め切らせて頂きます。キャンセルの場合はご連絡ください。参加費は当日支払いです。千代田区民料金のある講座は、当日、図書貸出券や健康保険証など住所が確認できるものをお持ちください。

## 11/17 (木) 他 江戸歴史講座 「鎖国」と「開国」の実像を読み解く(全2回)

講師：岩下 哲典（東洋大学文学部史学科・大学院文学研究科史学専攻教授）

近年の歴史学研究成果に基づき当時の史料を用いながら「鎖国」と「開国」の実像を読み解きます。いわゆる「鎖国」下において海外情報はいかに収集されていたのか、ペリー来航とは、などについて話します。第2回には、幕末日本人が描いたペリー来航絵巻、大槻磐溪編『金海奇観』全2巻を完全復刻版で展示・解説します。



- 日時：11月17日(木)19:00～20:30(18:30開場)
- 第1回 近世日本は「鎖国」だったのか
- 11月24日(木)19:00～20:30(18:30開場)
- 第2回 「開国」とは何かーペリー来航絵巻から

- 【各回共通】 ■会場：地下1階 コンベンションホール(大ホール) ■定員：200名
- 参加費：各回1000円(千代田区民 各回500円)

## 11/20 (日) ピースビレッジ第47回 身をもって感じたことを考える ～山伏の身体的コスモロジー～

講師：星野 文紘（山伏「大聖坊」十三代目）

山伏とはなんでしょうか。羽黒山伏最高位である松聖(まつびじり)の星野文紘さんは、こう考えます。「身をもって感じたことを考える学問」だと。数百年という歴史を受け継ぎながらも、現代の人々を魅了してやまない山伏について星野先達がお話します。(主催：NPO法人 世界連邦21世紀フォーラム)



- 日時：11月20日(日)14:00～16:30(13:30開場)
- 会場：4階 スタジオプラス(小ホール) ■定員：60名 ■参加費：3000円

## 11/28 (月) 平家物語、その滅びの美学(全3回) 第3回 平家物語の男たち

講師：林 望(作家) ゲスト：嵐山 光三郎(作家)

平家物語に描かれる、数多くの男たちの、その個性、その魅力などを巡って、あらためて考えてみたい。今回は、小説『清盛と平家』について独自の光を当て、召いて、縦横無尽、自由自在に語り、又題丁々止の談義を戦わせようかと思っている。(主催：公益財団法人上廣倫理財団)



- 日時：11月28日(月)18:30～20:30(18:00開場)
- 会場：地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
- 定員：200名 ■参加費：500円(千代田区民・学生無料)※学生の方は、当日、受付で学生証をご提示ください。

## 11/29 (火) チームの力を最大に引き出す リーダーシップのエッセンス

講師：西條 剛史（早稲田大学大学院(MBA)客員准教授）

モチベーションを上げ、チームの力を引き出し、活きるチーム・組織をつくるためのリーダーシップのエッセンスを学びます。震災支援や教育、経営、医療現場でも応用され成果を出している講師独自のメタ理論「構造構成主義」をベースに、事例をあげながら、チームづくりに不可欠なリーダーシップ哲学を身につけます。



- 日時：11月29日(火)19:00～20:45(18:30開場)
- 会場：地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
- 定員：200名 ■参加費：1000円

## 11/30 (水) HIBIYAイノベーション・キャンパス2016「ワークショップ【初級編】」イノベティブ思考の基礎的ワークを学ぶ

講師：成田 好孝(慶應義塾大学大学院SDM研究科 研究員)

広瀬 毅(慶應義塾大学大学院SDM研究科 研究員)

渡辺 今日子(慶應義塾大学大学院SDM研究科 特任助教)

問題をシステムとして捉え可視化・構造化する「システム思考」。多様性を活かし、人間中心で物事を設計する「デザイン思考」。この2つの思考を組み合わせ、アイデアを思い付くではなく、考え付くためのイノベティブ思考の基礎的なワークの流れを学びます。



左から、成田 好孝/広瀬 毅/渡辺 今日子

※9月2日(金)、10月1日(土)開催のワークショップ【初級編】と同じ内容です。(協力：慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科附属SDM研究所イノベティブデザインセンター)

- 日時：11月30日(水)19:00～21:00(18:30開場)
- 会場：4階 スタジオプラス(小ホール) ■定員：40名 ■参加費：2000円

## 12/1 (木) 近代日本「ものづくり」夜学会 日比谷カレッジ版 第2回 生糸が支えた明治の近代化

講師：佐滝 剛弘(高崎経済大学特命教授)

世界遺産に精通し、「富岡製糸場と絹産業遺産群」についての著書執筆や講演も多数行ってきた講師が、富岡製糸場に代表される明治期の絹産業による近代化について、地理的、経済的な視点を交え、人物にスポットを当ててお話しします。



創立当時の富岡製糸場(柴田常忠著『群馬の史跡名勝』/三明社/1928年)

- 日時：12月1日(木)19:00～20:30(18:30開場)
- 会場：4階 スタジオプラス(小ホール) ■定員：60名 ■参加費：1000円(千代田区民・学生500円) ※学生の方は、当日、受付で学生証をご提示ください。

## 12/3 (土) バリアフリー映画会『武士の家計簿』

通常の映画と異なり、音声ガイドと日本語字幕によって、視覚や聴覚に障害のある方もみんなで一緒に楽しめるバリアフリー映画を上映します。上映作品は磯田道史原作、森田芳光監督の『武士の家計簿』(2010年)。※どなたでもご参加頂けます。11月5日(土)より受付開始



- 日時：12月3日(土)14:00～16:15(13:30開場)
- 会場：4階 スタジオプラス(小ホール) ■定員：50名 ■参加費：無料 ※手話通訳、また車椅子スペースをご希望の方は、申込時にお申し出ください。

## 5th anniversary

ポモ一又 広報室より

2011年11月4日、図書館だけではなく様々な機能を兼ね備えた今までにない複合文化施設として開館し、今年で開館5周年。多くの方にご利用いただきましてありがとうございます。館内では、開館5周年を記念した企画を開催しています。また、現在開催中の特別展「江戸からたど

## 12/8 (木) 古書で紐解く近現代史セミナー 第23回 今も世界に輝く高峰譲吉さんの業績

講師：石田 三雄(NPO法人高峰譲吉博士研究会理事長)

タカジアスターゼ、アドレナリンの発見などで知られる高峰譲吉は、日米親善・民間外交にも多大な貢献をしました。本講座では、高峰譲吉の人生を通して、現代人が学ぶべき彼の「国際人」としてのあり方を語っていただきます。

- 日時：12月8日(木)19:00～20:30(18:30開場)
- 会場：4階 スタジオプラス(小ホール)
- 定員：60名
- 参加費：1000円(千代田区民・学生500円) ※学生の方は、当日、受付で学生証をご提示ください。



高峰 譲吉 (K.Kawakami 著『Jokichi Takamine./William Edwin Rudge /1928年)

### 特別研究室企画展示

## 「国際人」としての生き方 ～大航海時代から昭和戦前まで～ 開催中▶12月28日(水)

国際的な視野をもって様々な仕事をした官僚、内田嘉吉が集めた蔵書「内田嘉吉文庫」を手がかりに、明治大正期の日本の「国際人」、また古今東西の「国際人」の生き方を紹介します。あわせて人物紹介のパネルも展示します。



フランシス・ドレイク

## 予告 平成28年度文化財特別展 日比谷図書文化館 開館5周年記念特別展示 発掘された大名屋敷

千代田区内には、紀尾井町にあった徳川御三家の紀伊家・尾張家の屋敷、皇居外苑や大手町には幕政を担った譜代大名、丸の内や霞が関には外様大名などの上屋敷(藩主が暮らす屋敷)がありました。今回の展示では、遺跡発掘調査で発見された大名屋敷にスポットをあて、出土遺物のほか、大名行列の復元図や屋敷図面、文献資料を紹介し、大名屋敷のあった時代の街並みや屋敷の構造、そこでの生活風景を紹介します。特に江戸初期の大名屋敷で使われた豪華な食膳具は見どころです。



有楽町一丁目遺跡出土遺物(区指定文化財)

- 会期：平成28年12月5日(月)～平成29年2月5日(日) ■ 会場：1階特別展示室
- ※12/19、1/13、年末年始(12月29日～1月3日)は休館
- 時間：平日10:00～20:00、土10:00～19:00、日・祝10:00～17:00
- 入場無料 ■ 問合せ：文化財事務局 TEL:03(3502)3348

るマンガの旅～鳥羽絵・ポンチ・マンガ～」は11月16日(水)までとなりました。10月18日(火)からは後期展示も始まり、更に魅力的な作品を間近でご覧いただけます。

是非、色々な日比谷図書文化館を発見してみてください。

calendar 開館時間：平日10時～22時 ■ 土曜10時～19時 ■ 日祝10時～17時 ■ 休館日

2016年 11月							2016年 12月							
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	
			1	2	3	4	5					1	2	3
6	7	8	9	10	11	12	4	5	6	7	8	9	10	
13	14	15	16	17	18	19	11	12	13	14	15	16	17	
20	21	22	23	24	25	26	18	19	20	21	22	23	24	
27	28	29	30				25	26	27	28	29	30	31	

お問合せ先：千代田区立日比谷図書文化館 〒100-0012 千代田区日比谷公園1-4 TEL:施設代表 03-3502-3340 図書総合カウンター 03-3502-3343 URL:http://hibiyal.jp



### access

- 都営地下鉄 ●三田線「内幸町駅」A7出口 徒歩3分
- 東京メトロ ●丸の内線 ●日比谷線 「霞ヶ関駅」B2出口 徒歩3分 ●千代田線 「霞ヶ関駅」C4出口 徒歩3分
- JR「新橋駅」徒歩10分
- ※当施設に駐車場・駐輪場はございません。公共交通機関をご利用下さい。